



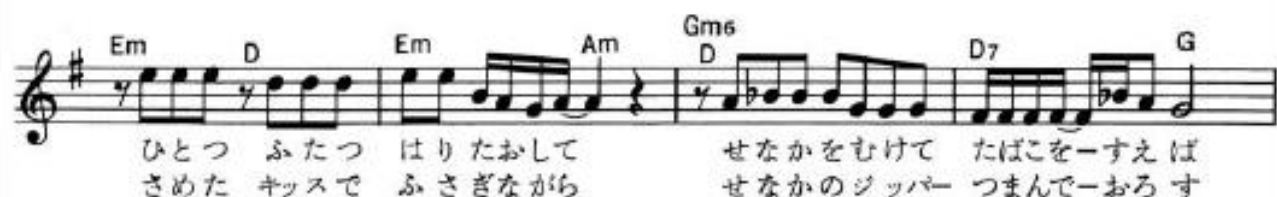
カサプランカ ダンディー

阿久悠 作詞
大野克夫 作曲

Andantino



ききわけのない おんなのほほをー
しゃべりがすぎる おんなのくちをー



ひとつ ふたつ はりたおして せなかをむけて たばこをーすえ ば
さめた キスで ふさぎながら せなかのジッパー つまんでーおろす



それでなにもい うことはない
ほかになにもす ることはない



うれしいころの ピアノのメロディー くるしいかおで きかないふりしてー
おもいでばかり つみかさねてもー あしたをいきる ゆめにはならないー



おとことおんなは なかれのーままだ パントマイムを えんじていたよ
おとことおんなは しょうちのーういで つらいしばいを つづけていたよ



ボーギー ボーギー
ボーギー ボーギー
ボーギー ボーギー

あんたのじ代いは よかったー おとこがピカピカの きざでいられたー
 あんたのじ代いは よかったー おとこのやせがまん いきにみえたよー
 あんたのじ代いは よかったー おとこがピカピカの きざでいられたー

ボーギー ボーギー あんたのじ代いは よかったー
 ボーギー ボーギー あんたのじ代いは よかったー
 ボーギー ボーギー あんたのじ代いは よかったー

おとこがピカピカの きざで いられ た
 おとこのやせがまん いきに みえた よ
 おとこがピカピカの きざで いられ た

ききわけのない女の頬を
 ひとつふたつ はりたおして
 背中を向けて 煙草をすえば
 それで何も いうことはない
 うれしい頃の ピアノのメロディー
 苦しい顔で きかないふりして
 男と女は 流れのままに
 パントマイムを 演じていたよ
 男がピカピカの 気障でいられた
 男がピカピカの 気障でいられた
 男がピカピカの 気障でいられた

しやべりが過ぎる 女の口を
 さめたキスで ふさぎながら
 背中のジッパー つまんでおろす
 他に何もすることはない
 想い出ばかり 積み重ねても
 明日を生きたる 夢にはならない
 男と女は 承知の上で
 つらい芝居を つづけていたよ
 ボーギー ボーギー あんたの時代はよかった
 男のやせがまん 粹に見えたよ
 ボーギー ボーギー あんたの時代はよかった
 男のやせがまん 粹に見えたよ
 男のやせがまん 粹に見えたよ

繰り返し

カサブランカダンデー

阿久悠 作詞
 大野克夫 作曲
 沢田研二 唄